

1 学校教育目標

- ・よく考え進んで実行する子
- ・なかよく助け合う子
- ・心も体もきたえる子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自ら学び、自ら考え、学ぶ意欲を育成する学校 ・心と体の健康づくりを進め、豊かな人間関係を育成する学校 ・特色ある学校づくり、開かれた学校づくりを進める学校 ・児童、保護者、地域と共に学び、信頼し合う学校
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び、考え、判断し、問題を解決しようとする児童 ・素直で明るく、優しく、進んで挨拶ができる児童 ・お互いに、心を耕し、体を鍛え、高め合う児童
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の心が分かり、熱意と使命感のある教師 ・どの子も分かる喜びをもてる授業をつくり、自らも学び続ける教師 ・組織人としての自覚をもち、主体的に学校運営に参画する教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

- 学校…学力向上を重視し、基礎的基本的な学習内容の定着が図られているものの、読解力や表現力に課題が多い。特色ある教育活動として、伝統的文化活動を積極的に進めている。
- 児童…明るく素直な児童、運動する児童が多く、地域・PTA行事にも意欲的に参加している。自ら考え、主体的に取り組む姿勢や他者と協働する態度などについては課題がある。
- 教師…若手教員が多いものの、日々の教育活動に熱心に取り組み、授業改善を図っている。主幹・主任教諭による校内OJTを充実させるとともに、毎月の研修を通して、指導力の向上を図っている。
- 地域・保護者…学校創立116年目の長い伝統とともに、日々地域の力に支えられている。家庭と連携を図り、基本的な生活習慣の定着に努めている。また、PTA活動も活発であり、開かれた学校づくり協議会、放課後子ども教室、ボランティアなど学校への理解が厚く、協力的である。

【成果と課題】

- 学力向上…平成29年度途中に「学力定着推進校」の指定を受け、一層学校がチーム一丸となり、学力向上委員会を中心に、全校で基礎学力の向上を邁進した。その結果、当初の区学力調査結果の数値が1月の再実施では、国語・算数ともに平均通過率94.7%と目標を上回った。とりわけ課題であった5年国語は96.8%、6年算数は90.4%と改善された。また、巡回指導員による若手教員への指導も日々の授業改善に繋がり、確実にその指導力の向上に結びついている。さらに、3校での小中連携による合同研究を進める中で、児童・生徒の発達段階、教科の系統性や指導法の共通理解を深めてきた。今後の課題は基礎的な内容の定着が不十分な児童に対して、個に応じた指導の充実。また、日本の伝統文化に触れる活動、地域学習等の体験的活動を一層推進するなど、児童が主体的に学んでいく学習を目指していく。
- 健康な心身の育成…挨拶を重視して、温かな人間関係を育てた。児童は全般的に明るく元気に生活しているが、些細なことからのトラブルもあり、思いやりの心をさらに育てたい。いじめや不登校傾向、児童の生活指導上の問題行動等には、全校で共通理解を図りながら組織的に対応した。運動好きの児童が多く、年間を通じた体育的活動や区のスポーツ大会での活躍も見られたが、体力テストの結果は、男子は向上したものの、女子は全般的に低い。運動経験の二極化や男女の遊びの形態の違い等に対応した日常的な運動の場づくりが必要である。
- 家庭・地域との連携…PTAや開かれた学校づくり協議会の行事も活発に行われ、教員も積極的に協力できた。地域との連携を深めることができた。地域内の幼稚園・保育園とも、積極的な交流を行うこともできた。今後の課題は、キャリア発達の育成のために、地域の方のお話を伺ったり、学年に応じた地域学習を行ったりする。

4 重点的な取組事項

番号	内容	実施期間				
		28	29	30	31	32
1	学力向上	○	○	○	○	○
2	健康な心身の育成	○	○	○	○	○
3	家庭・地域との連携	○	○	○	○	○

5 平成30年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上
A 今年度の成果目標		平成30年度区学力調査 目標通過率（学校平均）
全校で、基礎的・基本的内容の定着に向けた授業改善と、学力向上に関する取組が計画的になされていること。		国語 80%、算数 80%
B 前年度の取組み内容		
項目	具体的な方策	
基礎的な内容の理解の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別指導の徹底（けやき教室・学習ボランティア） ・パワーアップタイム・放課後けやき教室の充実 ・そだち指導員制度の効果的実施 ・夏季休業中の補充学習・漢字検定への取組 	
小中連携による合同研究	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校の合同学習指導案作成研究会（3回以上） ・合同研究授業の実施（3回） ・全体協議会（2回） 	
教員の指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・講師を招聘しての校内研究授業（6回） ・年次研修への全員参加・若手研修会・区小研への参加 	
体験的活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育、キャリア教育、オリンピックパラリンピックの推進 ・外部人材の活用・外部機関との連携 ・伝統的文化に触れる活動（落語・将棋・百人一首・俳句等） 	
C 前年度の成果と課題		
<p>基礎的な学習内容の定着に向けた朝のパワーアップタイムの改善、基礎定着のための「けやき教室」の充実、学習支援ボランティアによる習熟度別の個に応じた指導の推進、教師の授業改善の推進などにより、4月当初の区学力調査では下回っていた目標値通過率が、3回目には国語・算数とも94.4%と改善された。</p> <p>課題は、近年十分でない校内研究の推進により、学校として一層チーム一丸となって児童育成のために指導法の改善・充実を図ること。さらに、小中学校との連携事業の推進による義務教育9年間を見通した教科の系統性や指導法の共通理解、共通実践に取り組むことである。</p>		
D 今年度の目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
※学力向上アクションプランに掲載		

重点的な取組事項－2		健康な心身の育成
A 今年度の成果目標		達成基準
自他を認め、尊重する態度、あたたかな人間関係が、各学級を基盤に定着していること。年間を通した体力向上へ向けての取組が積極的になされていること。		学校評価アンケート「児童の様子」の肯定的評価 90%以上。都体力調査、全学年男女都平均以上か同程度。
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
挨拶の励行	学校評価アンケート「挨拶」の肯定的評価 90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・登校時や来校者への挨拶の徹底。 ・家庭・地域への啓発と行動連携
いじめの根絶・不登校の解消	いじめの解消 100% 不登校の解消 100%	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止対策委員会、特別支援校内委員会の活性化 ・スクールカウンセラー・関連機関との連携 ・道徳授業、学級活動の充実
体育的活動の充実	体力向上への全校的取組、年間4回以上	<ul style="list-style-type: none"> ・長縄・短縄・マラソン旬間・投てき ・校庭遊びの奨励

重点的な取組事項－3		家庭・地域との連携
A 今年度の成果目標		達成基準
学校・家庭・地域の中に、「家庭・地域と共に育つ学校」という共通意識がもたれていること。		学校評価アンケート「連携について」の肯定的評価 85%以上
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
保護者による年間2回の学校評価の実施	2回の学校評価アンケートの平均回収率 70%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み前・冬休み前の年2回アンケートの実施。変容の分析と課題への迅速な対応・改善
P T A・地域行事等への教職員の参加・協力	全教職員が年間2回以上いずれかの行事に参加	<ul style="list-style-type: none"> ・P T Aまつり、地域行事、開かれた学校づくり協議会活動等への計画的な参加
幼稚園・保育園との連携	1 幼稚園・1 保育園との連携活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園への全員参観、交流活動、行事への参加、教員の交流研修等の計画的な実施
各種ボランティアの拡充	図書ボランティア・学習支援ボランティア・将棋ボランティア等の増員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便り・H P・保護者会等での発信 ・地域への依頼